

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画B棟 新築工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目							
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境			4.4	0.15			4.4
1.1 室内騒音レベル	NC-40		4.0	0.40			
1.2 遮音			5.0	0.40			
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2		5.0	0.60			
2 界壁遮音性能	Dr=50		5.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-			
1.3 吸音	床:タイルカーペット、天井:ロックウール化粧吸音板		4.0	0.20			
2 溫熱環境			3.6	0.35			3.6
2.1 室温制御			4.2	0.50			
1 室温			3.0	0.38			
2 外皮性能	[窓]SC=0.46、U=1.95W/m²K、[外壁]U=0.97W/m²K		5.0	0.25			
3 ゾーン別制御性	細かなゾーニングがなされており、空調はゾーンごとに冷暖選択可		5.0	0.38			
2.2 湿度制御			3.0	0.20			
2.3 空調方式			3.0	0.30			
3 光・視環境			4.7	0.25			4.7
3.1 曜光利用			4.6	0.30			
1 曜光率	曜光率:U=2.7%		5.0	0.60			
2 方位別開口			-	-			
3 曜光利用設備	ハイサイドライトの採用		4.0	0.40			
3.2 グレア対策			5.0	0.30			
1 曜光制御	電動ブラインドによりグレアを制御している		5.0	1.00			
3.3 照度	照度:500lx		4.0	0.15			
3.4 照明制御	1作業単位で照度センサによる自動照明制御が可能		5.0	0.25			
4 空気質環境			4.1	0.25			4.1
4.1 発生源対策			4.0	0.50			
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している		4.0	1.00			
4.2 換気			3.6	0.30			
1 換気量	中央管理方式の空調設備が設置されている。換気量:30m³/h人		4.0	0.33			
2 自然換気性能	給気は排気と同じ方位で6m以上の位置にある。		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮			4.0	0.33			
4.3 運用管理			5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視	CO ₂ 監視が中央で常時行われており、管理マニュアルも整備されている。		5.0	0.50			
2 喫煙の制御	全館禁煙		5.0	0.50			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	4.2
1 機能性			4.3	0.40			4.3
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.40			
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペース:9m ² 以上		4.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応	将来的に複数キャリアを引き込める空配管を設置している		4.0	0.33			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たしている		4.0	0.33			
1.2 心理性・快適性			5.0	0.30			
1 広さ感・景観	天井高:3.0m		5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上、かつ自販機の設置		5.0	0.33			
3 内装計画	パースによる内装の事前検証を実施している		5.0	0.33			
1.3 維持管理			4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	トイレの壁・床には防汚性の高い材料を使用している		4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	清掃用具庫に洗い場を設置し、排水設備への経路を確保している		4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性			4.5	0.30			4.5
2.1 耐震・免震・制震・制振			5.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた50%増の耐震性		5.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能	免震装置を採用し建物全体で内部設備保護が図られている		5.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30			
1 艇体材料の耐用年数			3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット(20年)		5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房排気にSUSやガルバリウム鋼板を採用		5.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	空調配管:配管用炭素鋼管(白)…D		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20			
2.4 信頼性			4.8	0.20			
1 空調・換気設備	重要度に応じた系統区分、災害時の優先運転・電源供給		5.0	0.20			
2 給排水・衛生設備	過半以上にグリーン購入法適合品と同等の節水器具を採用		4.0	0.20			
3 電気設備	非常用発電機の設置		5.0	0.20			
4 機械・配管支持方法	耐震クラス:S以上		5.0	0.20			
5 通信・情報設備	ネットワーク機器用の無停電装置の設置		5.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出		4.0	0.30	-	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		4.0	0.40	-	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		4.0	0.10	-	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		3.5	0.50	-	-	-	3.5
4 効率的運用		4.5	0.20	-	-	-	4.5
集合住宅以外の評価		4.5	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング		5.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制		4.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	-	3.9
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		4.3	0.60	-	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減		5.0	0.10	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		3.8	0.33	-	-	-	3.8
2 地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		1.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減		4.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音		3.0	0.50	-	-	-	
2 振動		3.0	0.50	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	